

令和6年度

教育研究活動等に係るデータ分析による

自己点検・評価結果の概要

全学内部質保証委員会

1. 教育研究活動等に係るデータ分析による自己点検・評価について

【実施に当たり】

「教育研究活動等に係るデータ分析による自己点検・評価」は、福井大学内部質保証規程第8条の規定に基づき、福井大学全学自己点検・評価実施要項により実施するものである。

本自己点検・評価は、IR室（経営戦略課）で収集している「ファクトブック」のデータを分析し、現状や中期目標・中期計画の進捗状況など本学の教育研究活動等について、毎年度、IR機能を活用した客観的なデータに基づく自己点検・評価として実施するものである。分析するデータとして、ファクトブックに収納されたデータの内、以下を対象としている。

- ①大学の現状等を示す「基本データ」の中から適切なデータ（以下、「分析基本データ」という）：設置基準等の法令で定められている事項、法人評価・認証評価で確認が求められる事項、社会的な要請を含め、大学として目標を定めている事項、その他、共通指標等の主な事項など、自己点検できるものを精選している（別表1）。
- ②第4期の教育研究活動等の中心である中期計画の進捗を示す定量的な評価指標（以下、「特徴データ」という）：第4期中期計画に係る評価指標の中から、全ての定量的な評価指標から構成されている（別表2）。

データの分析においては、其々のデータにあらかじめ設定した評価基準等（目標値を含む）に基づき、“評価基準等を達成できたか/満たしているか”の観点から自己点検・評価を行い、この結果に基づき、必要に応じて、改善に向けた方策等を策定する。なお、「特徴データ」の自己点検・評価は、別途、法人評価対応部会が実施する全学内部質保証の一環である「中期目標・中期計画の進捗に係る自己点検・評価」の中で実施する。これら評価結果に基づき、関係部署等は、中期計画の達成を含め改善・向上に向けた取組みを実施することとしている。

【第4期中期目標・中期計画への関与】

本自己点検・評価は、以下の第4期中期目標・中期計画に関与している。

中期目標

- 14) 外部の意見を取り入れつつ、客観的なデータに基づいて、自己点検・評価の結果を可視化するとともに、それを用いたエビデンスベースの法人経営を実現する。併せて、経営方針や計画、その進捗状況、自己点検・評価の結果等に留まらず、教育研究の成果と社会発展への貢献等を含めて、ステークホルダーに積極的に情報発信を行うとともに、双方向の対話を通じて法人経営に対する理解・支持を獲得する。

中期計画

- 14)-1 エビデンスベースによる法人運営を目指し、IR機能を活用した客観的なデータに基づく自己点検・評価を実施し、教育研究活動等の質の改善状況をステークホルダーに分かりやすく発信していく。

評価指標

- 14-1-A 教育研究活動等に係るデータ分析による自己点検・評価を毎年度実施し、開示している。

本自己点検・評価の実施は、上記の中期計画であげた「IR機能を活用した客観的なデータに基づく自己点検・評価の実施」に相当するものである。さらに、本自己点検・評価の結果は、教育研究活動等の質の改善状況を示す「教育研究活動等に係るデータ分析による自己点検・評価報告書」として公表するとともに、当該概要によって広く情報発信する。

【分析基本データに係る実施手順等】

分析基本データに係る自己点検・評価は、基本的に、「教育研究活動等に係るデータ分析による自己点検・評価の実施ガイドライン」に沿って、以下のように実施した。

(1) 実施体制

分析基本データについて、IR室（経営戦略課）がデータ収集・整理等を、評価担当理事（IR室長）が評価を、IR室員が確認等を行った。

(2) 実施方法

（分析基本データの定義と評価対象データ）

員数群：当該年度5月1日現在の員数データ（当該年度入学者に関する入試データを含む）

実績群：前年度実績データ

員数群-補：当該年度11月1日現在の員数データ

実績群-補：前年度実績のうち追って集計が必要なデータ

IR室（経営戦略課）ではこれら分析基本データについて、年次推移を含めた「分析基本データ集」を作成している。

（分析基本データの自己点検・評価）

IR室（経営戦略課）によって収集された分析基本データに基づき、評価担当理事（IR室長）は評価基準等を鑑み、それぞれのデータを評価する（評点を付す）とともに、必要に応じてコメント及び特記事項（優れている点／改善を要する点）を記載した。その後、IR室員は、上記の結果を確認し、必要に応じてコメント、特記事項を記載した。

なお、IR室による評価は、以下の評点及び評語により実施した。

1. 評価基準等を満たしている
2. 一部の部局で、評価基準等を満たしていない
3. 評価基準等を満たしていない

【特徴データに係る実施手順等】

特徴データに係る自己点検・評価は、「中期目標・中期計画の進捗に係る自己点検・評価の実施ガイドライン」に沿って、法人評価対応部会が別途実施した。なお、詳細は、以下を参照のこと。

令和6年度中期目標・中期計画の進捗に係る自己点検・評価報告書（令和6年6月）

https://www.u-fukui.ac.jp/cont_about/outline/management06/self_inspect/

【自己点検・評価実施期間】

本自己点検・評価は、令和6年5月から令和6年6月に実施した。なお、員数群-補および実績群-補のデータについては、12月までに自己点検・評価することとしている。

【自己点検・評価結果報告書】

本年度の本自己点検・評価結果は、以下を参照のこと。

令和6年度教育研究活動等に係るデータ分析による自己点検・評価報告書（令和6年6月）

https://www.u-fukui.ac.jp/cont_about/outline/management06/self_inspect/

なお、当該概要はその報告書からの抜粋である。

2. 自己点検・評価結果の概要

本年度の自己点検・評価結果の概要は以下のとおりである。

(1) 分析基本データ

別表1 分析基本データ一覧及びその評点

基本データ総数	評点 ¹⁾			該当せず ²⁾
	1	2	3	
19	6	5	6	2

- 1) 評点
1. 評価基準等を満たしている
 2. 一部の部局で、評価基準等を満たしていない
 3. 評価基準等を満たしていない

2) 員数・実績群一補

「一部の部局で、評価基準等を満たしていない」

- ・1-① 志願者数・受験者数
- ・1-② 入学定員充足率・平均入学定員充足率
- ・1-③ 収容定員充足率（未充足の状況）
- ・1-⑥ 標準修業年限内卒業・修了率
- ・1-⑦ 標準修業年限X1.5年以内での卒業・修了率

「評価基準等を満たしていない」

- ・1-⑤ 授業外学修時間
- ・2-② 科研費採択件数・内定金額（教員当たりの獲得額）
- ・3-① 外国人留学生数
- ・3-② 海外派遣学生数
- ・4-③ 若手教員採用比率
- ・4-④ 女性教員比率

本年度は、上記のように、基本データのうち、5データは「一部の部局で、評価基準等を満たしていない」、6データは「評価基準等を満たしていない」と判定された。なお、昨年度は「評価基準等を満たしていない」が5データであり、本年度も継続して評価基準等を満たしておらず、改善されていないものもある。これらデータの中には法人評価・認証評価で確認が求められる事項や共通指標に該当するものもあり、それぞれ、評価基準等を満たすよう、改善に向けた更なる取組が求められる。

(2) 特徴データ

別表2 特徴データ一覧及びその達成状況

定量的な評価指標総数 ¹⁾	目標値を達成	目標値が未達成	該当せず ²⁾
65	54	7	4

1) 評価指標の中に複数の指標がある場合、別個の取り扱いとした

2) 当該年度に取組の予定がないもの、基準値を設定することとしているもの

本年度、設定した当該年度の目標値を達成していない評価指標は、次のとおりである。

- ・(1)-3-A 地域医療を指導できる総合診療・総合内科医の輩出人数
- ・(3)-2-B 多職種連携教育科目数
- ・(6)-3-A 地域医療、感染症教育に関する新たな取組件数
- ・(6)-3-B 地域医療、感染症に関するコンピテンシー達成度（看護学科）
- ・(7)-1-A 正規留学生数
- ・(8)-5-B 当該分野における研究成果の具体化件数（特許出願数と特許の権利化件数の合計）
- ・(13)-1-A 外部資金の獲得に関する新たな取組件数

次年度の目標値を達成できるよう、向上に向けた取組が求められる。なお、目標値未達成が昨年度3指標から7指標に増加していることは特記される。

分析基本データ一覧及びその評点

分類	基本データ (項目)		粒度	基準等	対象年度	実績 (前年度) / 員数 (今年度)	実施年度の評点						備考
							R4	R5	R6	R7	R8	R9	
教育	1-①	志願者数・受験者数	学部・学科 研究科・課程	過去5年間の平均以上	当該年度5月現在 (春期)	員数群	2	2	2				
	1-②	入学定員充足率 ・平均入学定員充足率	学部・学科 研究科・課程	認証評価等の基準 (目安:100%以上、130% 未満)	当該年度5月現在	員数群	2	2	2				モニタリング項目
	1-②'				及び11月現在 (秋 期を含む)	員数群-補	2	2					
	1-③	収容定員充足率 (未充足の状 況)	学部・学科 研究科・課程	法人評価等の基準 (90%以上: 医・工・教 研・医研博・工研 80%以上: 教・国・医 研修・国研)	当該年度5月現在	員数群	2	1	2				モニタリング項目
	1-④	収容定員超過率	学部 研究科	法人評価等の基準 (110%)	当該年度5月現在	員数群	1	2	1				モニタリング項目
	1-⑤	授業外学修時間	全学・学部	第3期末より増 (12.5時間)	前年度	実績群		3	3				
	1-⑥	標準修業年限内卒業・修了率	各部局	本学独自の基準 (目安: 教・研: 85% 工研前: 82.5% 教・医・工・国研: 80% 国: 70% 工研後: 50% 医研: ~)	前年度	実績群		2	2				共通指標 モニタリング項目
	1-⑦	標準修業年限×1.5年以内で の卒業・修了率	各部局	法人評価等の基準 (目安: 教・医・工・国: 90%以上 教・研・医研修・工研前・国 研: 85%以上 医研博・工研後: 70%以 上)	前年度	実績群		2	2				モニタリング項目
	1-⑧	学位授与数 (博士)	医学系・工学	前年度より増	前年度	実績群		2	1				共通指標
1-⑨	就職率	全学・部局	高い水準を維持 (97.2%)	前年度	実績群		1	1				特徴データと重複 (2)-1-B他	
研究	2-①	研究論文数 (年間) (教員当 たりの業績数)	全学	第3期平均値より増	前年度	実績群-補		3					共通指標 3年間の平均ではなく、1年ご とのデータを取り扱う
	2-②	科研費採択件数・内定金額 (教員当たりの獲得額)	全学	第3期平均値より増	前年度	実績群		3	3				研究推進課から提供のデータと し、共通指標数値とは異なる可 能性あり
	2-③	外部資金獲得状況:総額・内 訳別総額 (教員当たりの受 託・共同研究受入額)	全学	第3期平均値より増	前年度	実績群		1	1				研究推進課から提供のデータと し、共通指標数値とは異なる可 能性あり
グローバル	3-①	外国人留学生数	全学	設定した目標値 (第3期の正規留学生数の 年平均(118名)より増加)	前年度	実績群		3	3				特徴データと重複 (7)-1-A
	3-②	海外派遣学生数	全学	設定した目標値 (第3期のJASSO海外留学支 援制度の支援実績の年平均 (171名)より増加)	前年度	実績群		3	3				
教員数	4-①	基幹教員数・専任教員数	学部・学科 研究科・課程	設置基準	当該年度5月現在	員数群	1	1	1				
	4-②	研究指導・補助教員数	学部・学科 研究科・課程	設置基準	当該年度5月現在	員数群	1	1	1				
	4-③	若手教員採用比率	人事で設定した粒 度	人事で策定した目標値 (若手教員の採用比率: 年 平均60%以上)	前年度	実績群		1	3				共通指標 「福井大学における教員の 総合的な人事計画」に掲げる 目標値 (この計画における若 手教員: 当該年度の年度末にお ける年齢が40歳未満の者)
	4-④	女性教員比率	人事で設定した粒 度	人事で策定した目標値 (R8年度末までの目標値: 22%以上)	当該年度5月現在	員数群	3	3	3				「福井大学一般事業主行動 計画」に掲げる目標値

実施年度の評点

1. 評価基準等を満たしている
2. 一部の部局で、評価基準等を満たしていない
3. 評価基準等を満たしていない

特徴データ一覧及びその達成状況

中期計画 番号	評価指標 番号	定量的な指標	目標値	達成状況(目標・実績値)						意欲的
				R4	R5	R6	R7	R8	R9	
(1)-1	(1)-1-A	地域イノベーション関与指数	235超(第4期平均)	371	343					
				241	248	255	265	271	278	
(1)-2	(1)-2-B	ステークホルダーのニーズに応えた嶺南地域の課題解決に向けたプロジェクト件数	30件以上(第4期合計)	17件	17件(累計34件)					
				5件	15件(累計20件)	15件(累計35件)	15件(累計50件)	10件(累計60件)	10件(累計70件)	
(1)-2	(1)-2-C	相手先を福井県、嶺南自治体等とする共同研究、受託研究及び受託事業の受入金額	9,129千円超(第4期合計)	6,230千円	13,433千円 (累計19,663千円)					
				1,500千円	5,000千円 (累計6,500千円)	5,000千円 (累計11,500千円)	3,000千円 (累計14,500千円)	3,000千円 (累計17,500千円)	2,000千円 (累計19,500千円)	
(1)-3	(1)-3-A	地域医療を指導できる総合診療・総合内科医の輩出人数	12名以上(第4期合計)	2名	1名(累計3名)					
				2名	2名(累計4名)	2名(累計6名)	2名(累計8名)	2名(累計10名)	2名(累計12名)	
(1)-3	(1)-3-B	感染症専門医の輩出人数	6名以上(第4期合計)	2名	1名(累計3名)					
				1名	1名(累計2名)	1名(累計3名)	1名(累計4名)	1名(累計5名)	1名(累計6名)	
(1)-3	(1)-3-C	①「健康のまちづくり友好都市連盟」サミットの開催回数 ②当該サミット参加自治体数	①1回(毎年度) ②延べ180自治体(第4期合計)	1回	1回					
				①年度内1回開催	①年度内1回開催	①年度内1回開催	①年度内1回開催	①年度内1回開催	①年度内1回開催	
				31自治体	32自治体 (延べ63自治体)					
				②30自治体が参加	②30自治体(延べ60自治体)が参加	②30自治体(延べ90自治体)が参加	②30自治体(延べ120自治体)が参加	②30自治体(延べ150自治体)が参加	②30自治体(延べ180自治体)が参加	
(1)-4	(1)-4-A	令和9年度までに「未来協働プラットフォームふくい(※)」等での議論に基づくリカレントプログラムを複数実施 ※福井県版地域連携プラットフォーム	2件以上(第4期合計)	3件	7件 (累計10件)					
				-	-	1件以上	-	1件以上 (累計2件以上)	1件以上 (累計3件以上)	
(2)-1	(2)-1-B	就職率	97.2%(第4期平均)	99.3%	99.3%					◆
				97.2%	97.2%	97.2%	97.2%	97.2%	97.2%	
(2)-2	(2)-2-A	高等学校における探究活動の支援回数	46回以上(R9年度)	95回	112回					
				30回	40回	46回	46回	46回以上	46回以上	
(2)-2	(2)-2-B	大学における探究プロジェクト開催回数	16回以上(R9年度)	14回	17回					
				12回	14回	16回	16回	16回以上	16回以上	
(2)-3	(2)-3-A	就職率	97.2%(第4期平均)	99.3%	99.3%					◆
				97.2%	97.2%	97.2%	97.2%	97.2%	97.2%	
(3)-1	(3)-1-B	認定取得した教育プログラム履修者数	200名以上(R9年度)	331名	361名					
				300名	340名(対象科目の受入定員数)	340名(対象科目の受入定員数)	855名(入学定員数)	855名(入学定員数)	855名(入学定員数)	
(3)-2	(3)-2-B	多職種連携教育科目数	6科目超(第4期合計)	5科目	5科目					
				6科目	6科目	7科目以上	7科目以上	7科目以上	7科目以上	
(4)-1	(4)-1-B	修了までに必修以外の工学研究科共通科目を履修した学生数(工学研究科博士前期課程(改組後))	150名以上(第4期平均)	-	196名					
				-	150名	150名	155名	155名	155名	
(4)-1	(4)-1-C	工学研究科博士前期課程修了生の就職率	97.2%(第4期平均)	100%	99.7%					
				97.2%	97.2%	97.2%	97.2%	97.2%	97.2%	
(4)-2	(4)-2-A	他大学や機関と連携して行う原子力安全工学教育メニューの実施回数	38回超(第4期合計)	13回	19回(累計32回)					
				8回	8回(累計16回)	10回(累計26回)	12回(累計38回)	12回(累計50回)	12回(累計62回)	
(4)-2	(4)-2-B	原子力関連分野への就職者数	52人(第4期合計)	11人	12人(累計23人)					
				10人	10人(累計20人)	10人(累計30人)	10人(累計40人)	10人(累計50人)	10人(累計60人)	
(5)-1	(5)-1-A	大学院教師教育・教員養成カリキュラムにおける長期的で組織的な学校拠点のプロジェクト学習の授業科目割合	90%以上(R9年度)	77%	91%					
				77%以上	88%以上	88%以上	88%以上	90%以上	90%以上	
(5)-1	(5)-1-B	長期的で組織的な学校拠点のプロジェクト学習の授業科目における大学院生の学習(能力)評価に参画する立場の異なるステークホルダー数	6名以上(R9年度)	3名	3名					
				3名	3名	4名	5名	6名	6名	
(5)-1	(5)-1-C	「理論と実践の往還」及び長期的で組織的な学校拠点のプロジェクト学習の展開の観点から、すべての科目(授業科目・研修科目)が有機的に編成されたカリキュラムを実施する拠点数(連携大学・自治体)	5拠点以上(R9年度末)	3拠点	4拠点					
				3拠点	4拠点以上	4拠点以上	5拠点以上	5拠点以上	5拠点以上	
(5)-2	(5)-2-B	海外事業所や海外展開する国内企業等との間でオンラインによるヒアリングや議論を行うプログラム件数	12件以上(第4期合計)	7件	3件(累計10件)					
				2件	2件(累計4件)	2件(累計6件)	2件(累計8件)	2件(累計10件)	2件(累計12件)	
(6)-1	(6)-1-C	教育学部全体の特別支援学校教諭の免許状取得率	25%以上(R9年度)	15.2%	15.3%					
				15%以上	15%以上	15%以上	20%以上	25%以上	25%以上	
(6)-2	(6)-2-B	卒業時における学生の達成度自己評価において、「できる」「ある程度できる」と回答した学生の割合	R5年度(医学科)超 (R9年度)	-	(医学科)64.2%					
				-	基準値を設定	64.3%以上	64.3%以上	64.3%以上	64.3%以上	
				R4年度(看護学科)超 (R9年度)	(看護学科)92.0%	92.7%				
				基準値を設定	92.1%以上	92.1%以上	92.1%以上	92.1%以上	92.1%以上	

中期計画 番号	評価指標 番号	定量的な指標	目標値	達成状況(目標・実績値)						意欲的
				R4	R5	R6	R7	R8	R9	
(6)-3	(6)-3-A	地域医療、感染症教育に関する新たな取組件数	R4の数値超 (R9年度)	3件	3件					
				基準値を設定	継続を含む4件以上	継続を含む4件以上	継続を含む4件以上	継続を含む4件以上	継続を含む4件以上	
(6)-3	(6)-3-B	地域医療、感染症に関するコンピテンシー達成度(学生のアンケート結果)	R5年度(医学科(地域医療)超(R9年度)) R5年度(医学科(感染症)超(R9年度))	-	(医学科) 地域医療/3.90 感染症/3.56					
				-	基準値を設定	地域医療/3.91以上 感染症/3.57以上	地域医療/3.91以上 感染症/3.57以上	地域医療/3.91以上 感染症/3.57以上	地域医療/3.91以上 感染症/3.57以上	
			R4年度(看護学科(地域医療)超(R9年度)) R4年度(看護学科(感染症)超(R9年度))	(看護学科) 地域医療/4.24 感染症/4.17	地域医療/4.11 感染症/4.11					
				基準値を設定	地域医療/4.25以上 感染症/4.18以上	地域医療/4.25以上 感染症/4.18以上	地域医療/4.25以上 感染症/4.18以上	地域医療/4.25以上 感染症/4.18以上	地域医療/4.25以上 感染症/4.18以上	
(7)-1	(7)-1-A	正規留学生数	118名超 (R9年度)	106名	103名					
				118名超	118名超	118名超	118名超	118名超	118名超	
(7)-1	(7)-1-B	正規留学生の満足度(正規留学生を対象としたアンケート)	R4年度超 (R9年度)	8.89/10点	9.22/10点					
				基準値を設定	8.9/10点以上	8.9/10点以上	8.9/10点以上	8.9/10点以上	8.9/10点以上	
(7)-2	(7)-2-B	英語による専門科目数	R4年度超 (毎年度)	368	385					
				基準値を設定	369以上	369以上	369以上	369以上	369以上	
(7)-2	(7)-2-C	②国際通用性を高める教育(海外留学等)の実施前後のグローバル・コンピテンシー指標	②15%以上向上(第4期平均)	19%	20%					
				15%以上向上	15%以上向上	15%以上向上	15%以上向上	15%以上向上	15%以上向上	
(7)-3	(7)-3-A	海外教員研修留学生及び研修受講生指数	300以上(第4期平均)	305	447					
				200	300	300	300	350	350	
(7)-3	(7)-3-C	海外教員研修留学生及び研修受講生による「長期実践研究報告」において、研修について良好な評価(上方3/5以上)を行った留学生・研修生の割合	60%以上(第4期平均)	56%	56%					
				50%以上	55%以上	60%以上	60%以上	70%以上	80%以上	
(8)-1	(8)-1-A	遠赤外領域研究に関する国内・国際共同研究の新規実施件数	227件以上(第4期合計)	46件	58件(累計104件)					
				40件	40件(累計80件)	40件(累計120件)	40件(累計160件)	34件(累計194件)	33件(累計227件)	
(8)-2	(8)-2-A	Science Citation Index (SCI) 論文数	130件(第4期合計)	21件	24件(累計45件)					
				23件	23件(累計46件)	23件(累計69件)	23件(累計92件)	20件(累計112件)	20件(累計132件)	
(8)-2	(8)-2-B	①試験研究の分野に係るセミナー等の開催回数 ②同研究分野の連携協定数	①2回以上(毎年度)	7回	10回					
				年間2回	年間2回	年間2回	年間2回	年間2回	年間2回	
			②3件以上(第4期合計)	0件	2件					
				-	-	-	2件	-	1件(累計3件)	
(8)-3	(8)-3-A	病態画像研究に関する学術誌への英文論文掲載数	160件超(第4期合計)	48件	60件(累計108件)					
				30件	30件(累計60件)	30件(累計90件)	30件(累計120件)	30件(累計150件)	11件(累計161件)	
(8)-4	(8)-4-A	地域イノベーション創出指数	176超(第4期平均)	225	240					
				185	185	186	189	190	190	
(8)-5	(8)-5-A	当該分野における学術誌への英文論文掲載数	1,756件超(第4期合計)	312件	323件 (累計635件)					
				300件	300件 (累計600件)	300件 (累計900件)	300件 (累計1200件)	300件 (累計1500件)	257件 (累計1757件)	
(8)-5	(8)-5-B	当該分野における研究成果の具体化件数(特許出願数と特許の権利化件数の合計)	92件超(第4期合計)	16件	12件(累計28件)					
				16件	16件(累計32件)	16件(累計48件)	16件(累計64件)	16件(累計80件)	13件(累計93件)	
			(実績の内、特許出願数)	7件	7件					
			(実績の内、特許の権利化件数)	9件	5件					
(9)-1	(9)-1-A	①義務教育学校における発達障害児を含めたPBLの実施時間数 ②幼稚園における発達障害児を含めた「PBLに繋がる遊びの時間」数	①-1 100時間以上(前期課程)(毎年度) ①-2 70時間以上(後期課程)(毎年度)	①-1 105~136時間 ①-2 90~105時間	①-1 105~143時間 ①-2 102~125時間					
				①-1 100時間以上 ①-2 70時間以上	①-1 100時間以上 ①-2 70時間以上	①-1 100時間以上 ①-2 70時間以上	①-1 100時間以上 ①-2 70時間以上	①-1 100時間以上 ①-2 70時間以上	①-1 100時間以上 ①-2 70時間以上	
			②150時間以上(毎年度)	②386~388時間	②386~392時間					
				②150時間以上	②150時間以上	②150時間以上	②150時間以上	②150時間以上	②150時間以上	
(9)-1	(9)-1-B	教育学部・教職大学院・医療等との連携件数	138件より20%以上増加(第4期合計) (166件以上)	34件	34件(累計68件)					
				30件	30件(累計60件)	30件(累計90件)	30件(累計120件)	30件(累計150件)	30件(累計180件)	
(9)-1	(9)-1-C	附属学園に所属する教員の教職大学院への進学者数	18名超(第4期合計)	3名	3名(累計6名)					
				3名	3名(累計6名)	4名(累計10名)	4名(累計14名)	4名(累計18名)	2名(累計20名)	
(10)-1	(10)-1-A	①研究者等を対象とした多様なテーマによる臨床研究に関するセミナー・講習会の実施件数 ②研究デザイン設計を含む総合的な統計相談件数	①12回以上(毎年度)	22回	27回					
				12回以上	12回以上	12回以上	12回以上	12回以上	12回以上	
			②12回以上(毎年度)	31回	21回					
				12回以上	12回以上	12回以上	12回以上	12回以上	12回以上	
(10)-2	(10)-2-A	シミュレーターを活用した臨床研修の実施回数	30回以上(毎年度)	48回	69回					
				30回以上	30回以上	30回以上	30回以上	30回以上	30回以上	
(10)-2	(10)-2-B	卒前教育・卒後教育を一体化し、臨床実技とシミュレーショントレーニングを組み合わせた教育・研修プログラム数	3回以上(毎年度)	4プログラム	5プログラム					
				3プログラム以上	3プログラム以上	3プログラム以上	3プログラム以上	3プログラム以上	3プログラム以上	

中期計画 番号	評価指標 番号	定量的な指標	目標値	達成状況（目標・実績値）						意欲的
				R4	R5	R6	R7	R8	R9	
(10)-3	(10)-3-A	臨床研究の新規実施件数	1,205件超（第4期合計）	226件	203件 （累計429件）					
				180件	185件 （累計402件）	190件	195件 （累計804件）	200件	205件 （累計1206件）	
(10)-3	(10)-3-B	不妊治療施設（新設施設）の治療件数	R4年度超（R9年度）	2007件	2413件					
				基準値を設定	2108件	2208件	2309件	2409件	2509件	
(10)-3	(10)-3-C	①がん遺伝子パネル検査件数 ②遺伝カウンセリング件数	①50件以上（第4期合計） ②40件以上（第4期合計）	78件	82件（累計160件）					
				8件	30件（累計60件）	30件（累計90件）	30件（累計120件）	30件（累計150件）	30件（累計180件）	
				69件	62件（累計131件）					
(11)-1	(11)-1-A	教職協働によるプロジェクト件数	10件以上（第4期合計）	継続5、新規2	新規2件 （累計9件）					
				継続5、新規2	新規1件以上 （累計8件以上）	新規1件以上 （累計9件以上）	新規1件以上 （累計10件以上）	（累計10件以上）	（累計10件以上）	
(12)-1	(12)-1-A	共用設備の使用件数	52,639件超（第4期合計） （文京：27,348件） （第4期合計） （松岡：25,291件） （第4期合計）	10,745件	11,179件 （累計21,924件）					
				9,138件	9,138件 （累計18,276件）	9,138件 （累計27,414件）	9,138件 （累計36,552件）	9,138件 （累計45,690件）	9,138件 （累計54,828件）	
				5,825件	6,209件 （累計12,034件）					
				（文京：4,922件） （文京：4,922件）	（文京：4,922件） （累計9,844件）	（文京：4,922件） （累計14,766）	（文京：4,922件） （累計19,688）	（文京：4,922件） （累計24,610）	（文京：4,922件） （累計29,532）	
(12)-2	(12)-2-A	エネルギー消費原単位値（原油換算値）の削減割合	0.038323kl/m ³ 以下 （R9年度）	0.03870kl/m ³	0.03712kl/m ³					
				0.04000kl/m ³ 以下	0.03950kl/m ³ 以下	0.03900kl/m ³ 以下	0.03830kl/m ³ 以下	0.03815kl/m ³ 以下	0.03800kl/m ³ 以下	
(13)-1	(13)-1-A	外部資金の獲得に関する新たな取組件数	2件以上（第4期合計）	1件	0件 （累計1件）					
				1件以上	1件以上 （累計2件以上）	-	-	1件以上 （累計3件以上）	-	
(13)-1	(13)-1-B	相手先を福井県、嶺南自治体等とする共同研究、受託研究及び受託事業の受入金額	9,129千円超（第4期合計）	6,230千円	13,433千円 （累計19,663千円）					
				1,500千円	5,000千円 （累計6,500千円）	5,000千円 （累計11,500千円）	3,000千円 （累計14,500千円）	3,000千円 （累計17,500千円）	2,000千円 （累計19,500千円）	
(14)-2	(14)-2-A	connect Ufukuiの登録者数	2,000人以上（R9年度）	903人	1250人					
				500人以上	1000人以上	1500人以上	2000人以上	2000人以上	2000人以上	
(15)-1	(15)-1-A	事務局職員のデジタル技術の活用に関する研修会等への参加者数	60名（第4期合計）	21名	19名（累計40名）					
				10名	10名（累計20名）	10名（累計30名）	10名（累計40名）	10名（累計50名）	10名（累計60名）	
(15)-1	(15)-1-B	AI・RPAなどデジタル技術の導入件数	3件以上（第4期合計）	2件	2件（累計4件）					
				1件	1件（累計2件）	1件（累計3件）	1件（累計4件）	1件（累計5件）	1件（累計6件）	
(15)-2	(15)-2-A	研修会の開催数	12回以上（第4期合計）	2回	2回（累計4回）					
				2回	2回（累計4回）	2回（累計6回）	2回（累計8回）	2回（累計10回）	2回（累計12回）	

※ 0件 ピンク色の塗りつぶしセルは、当該年度の実績が目標値が未達のもの。

※ 赤字は、数値の修正を行ったもの。